

## 授業づくりの考え方と方法を学ぶために

音楽教育 石塚真子

### 1、授業の概要

「音楽科教育法」は、2年生を対象に後期に開講。受講者は、27名である。

この授業は、「音楽教育の歩み、目的、内容、学習材、学びのあり方等についての基礎的な知識を得ることによって学校教育における音楽科教育の位置づけや意義について理解する。さらに、音楽の授業を展開するための基礎的な能力を身につける」ことを目的としている。

授業内容は、前半は、音楽教育の基礎的な知識や音楽科の授業構成の方法についての講義、後半は、全体を約3名のグループに分けそれぞれのテーマに基づいて授業づくりを行った。

### 2、授業づくりの考え方と方法を学ぶために

前半は授業づくりにおける基本的な考え方について講義を行ったが、そこで得た知識や方法が実際の授業づくりで活かされるように、授業づくりのフィードバック資料（授業の記録）を活用した。それらを通して、授業づくりの考え方と方法について、自分たちで行った授業を振り返ることができるように工夫した。

さらに、授業づくり（模擬授業）については、全員でその授業テーマについて考えることができるように、授業づくりの後に、研究討議を行った。そこで学んだことを、フィードバック資料に記入し、各自で確認するようにした。

様々な領域の授業づくりを体験できるようにするために、第一回目の授業時に、「歌唱」、「器楽」、「鑑賞」、「創作」、「日本音楽」、「諸民族の音楽」のそれぞれの領域の授業づくりについて、どのようなことを学びたいのか質問紙調査を行った。希望の多かった内容、その領域の授業づくりにおいて欠かせない内容等から授業づくりのテーマを決めた。学生の解決したい課題に基づいてグループごとに学習材の研究、授業づくりを行った。自分の興味あるテーマのみとり上げるのではなく、「日本音楽」、「諸民族の音楽」のように、

これまでに実際に授業を受けた経験の少ない領域の授業づくりにもとり組んだ。また、グループ学習については、個別指導を行った。

主に、各テーマの授業づくりにおける学習材研究の方法、授業づくりのポイント等を学べるように授業を工夫した。

### 3、学生の授業評価

学生自身が、この授業にどのようにとり組んだのか、授業の最終回に質問紙調査を行った。

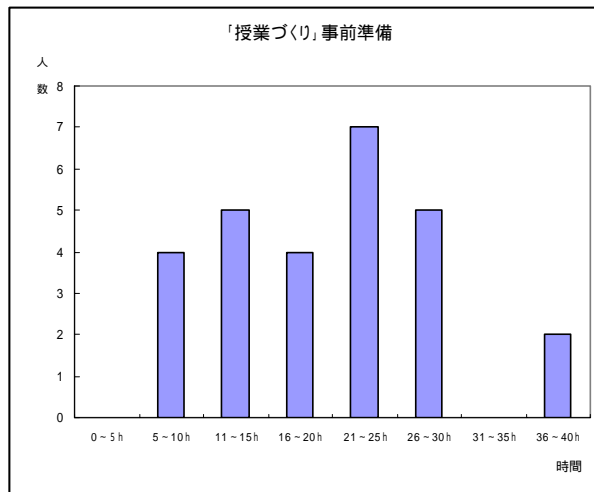
（回答者数 27名）

(1)自分の担当した「授業づくり」の事前準備のとり組みについて

A：とり組んだ期間

2週間	15名
3週間	3名
1ヵ月	8名
2ヶ月	1名

B：とり組んだ時間



全体として、各グループとも授業準備について

よくとり組んでいた。授業づくりの前には、最低1度は個別指導を行い、課題を確認したことで、学習材や学習方法の研究を深められたのではないかと思います。授業時間以外の指導ではあるが、学生とともに「授業づくり」について考えたことが、学びの原動力になったようである。

しかしながら、自分の「授業づくり」担当日以外の予習については、0.5時間の予習を行った学生が4名しかいなかった。自分の担当日以外の授業への参加については、今後の課題である。

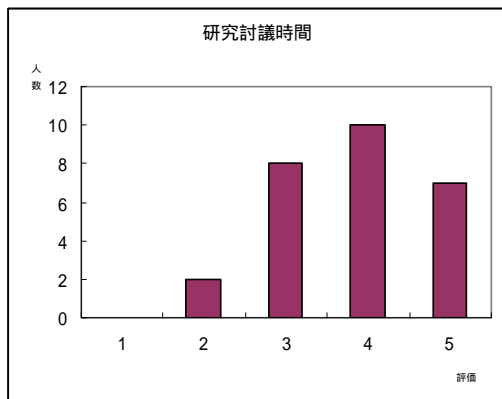
## (2)自分の担当した「授業づくり」後のとり組みについて

0.5時間	9名
1時間	10名
1.5時間	2名
2時間	6名

全員がなんらかの形でフィードバックを行っていたようである。フィードバック資料が活かされたのではないかと思います。今後は、事前指導だけでなく、事後指導についても充実させたい。

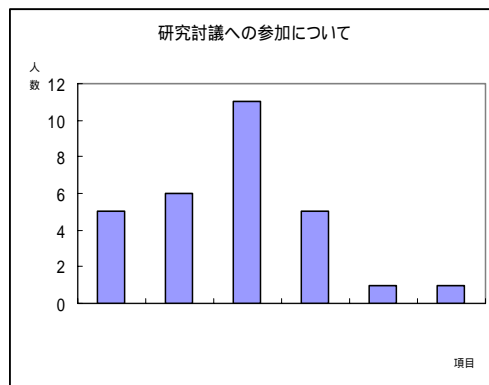
## (3)研究討議について

A：研究討議の時間（15分）について



B：研究討議の参加について  
(項目内容)

- 研究討議に積極的に参加することができた。
- 研究討議に適度に参加することができた。
- 発言は少なくなったが自分の研究討議への参加について満足している。
- 発言したかったが、時間の関係等でなかなか発言できなかった。
- 研究討議に積極的に参加することができなかった。
- その他



研究討議については、「同じ人が発言することが多かった。」「もっと多くの人の意見が聞きたかった」などの回答があった。約15分という限られた時間で、より多くの学生ができる環境づくり、方法を考える必要がある。学生自身からの「アンケートや意見用紙を用いればよかった。」との意見を、次年度に活かしたい。

## (4)授業の感想

- ・人の授業の展開を見るのは楽しい！自分の授業展開をみんなに見てもらうのもとても楽しい経験でした。
- ・各テーマで色々考え、良い授業づくりができたと思います。
- ・全体的にとっても勉強になった
- ・みんなが解決したい課題を含んでの授業づくりだったので、ただ領域が与えられているより、目的をもって授業づくりに取り組めたと思う。
- ・授業を行う際の注意点もみえてきたような気がした。
- ・模擬授業は、本当に色々なことを考えさせられ、音楽の授業内だけでなく、子どもと接するであろう大人としてのことも考え方も色々と考えさせられました。

## 4、今後の課題

各回の「授業づくり」の課題が、つぎのグループに活かされ、最終的に全員で積み上げた「授業づくり」ができたと思う。テーマの決め方やフィードバック資料の活用等については、概ね良好であったので、今後は、事後の個別指導も加え、授業を充実させたい。

また、つぎのような学生の不安にも対応できるように授業を工夫したい。

- ・授業の相手が大学生なので、実際に、小、中、高校に行くと、同じ授業をした時に、通用するのか不安です。
- ・全ての授業に共通して言えると思いますが、音楽のできる子対照の授業のような感じがしたので、実践で役に立つのか不安になりました。